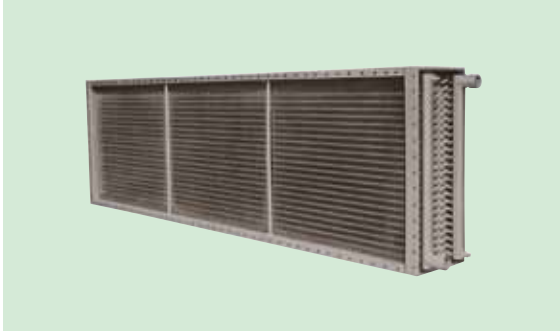
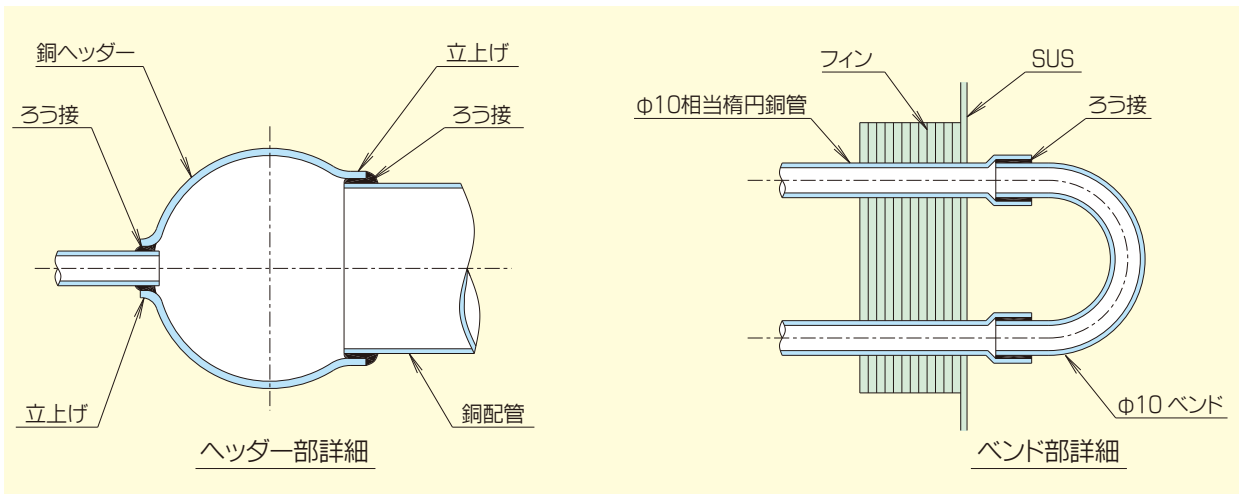


コイル構造



■標準仕様 詳細は納入仕様書にてご確認ください。

- | | |
|-----------|-------------|
| 1. 冷却管 | Φ10相当楕円銅管 |
| 2. フィン | スリット形アルミフィン |
| 3. フィンピッチ | 2.0mm~3.3mm |
| 4. 有効長 | 最長3000mmまで |
| 5. 列数 | 2列~12列 |
| 6. 段数 | 8段~70段 |
| 7. ヘッダー | 銅管 |
| 8. ケーシング | SUS |



■標準水回路

ダブルフロー……水量が多いときに使用する回路で、銅管内の水速を所定の範囲内にします。

シングルフロー……通常使用する回路です。

ハーフフロー……水量が少ないときに使用する回路で、銅管内の水速を所定の範囲に確保します。

1/4フロー……水量が極端に少ないときに使用する回路で、銅管内の水速を所定の範囲に確保します。

■2Way方式 垂流回路

大温度差運転で少負荷のとき、水量を制御バルブで絞りきれず温度差が付かない場合があります。これは制御バルブの性能限界が水量40%程度までだからです。そこでコイルを2Wayに分け、負荷に応じ片側を停止すれば、結果的に水量20%相当まで制御できたことになり、少負荷時での温度差が保証されます。

また、片側運転でも空気の素通りがなく、能力は基準値の60%程度を有しますので、ピーク時を除き常時使用が可能です。更に大幅な少水量となり、省エネに貢献できます。

なお、1Wayまたは2Wayのいずれであっても、水抜き、エア抜きができるよう垂流回路としています。

